

西脇市保育士等キャリアアップ研修（幼児教育分野）

受講者感想（2020.11.6）

○芳田こども園さんの2歳から5歳までの公開保育、瀧川先生の研修会を終えて、ごっこ遊びでの工夫された保育の仕方、子ども達が目をキラキラさせ、楽しく遊んでいて、トキメキやヒラメキが生まれるような保育をされていてとても良い学びになりました。ぜひ園に持ち帰って実践できることを他のクラスの先生達とも相談しながら今後の保育に活かしていきたいと思います。

○芳田こども園の公開保育を見て、子ども一人ひとりに寄り添った教育・保育をされていると思いました。特に5歳児では主体性を大切にする様子がよく見られ、私も普段の補保育に大切にしていかなければならないと感じました。

○今日は公開保育、研修に参加させていただき、私自身の学びになりました。日々の保育を見直し、今日学んだことをどんどん取り入れて、子ども達主体の、子どもが楽しんで取り組める保育を行っていききたいと思います。

○今日の研修では実際に見た子どもの姿と見比べながら話を聞いたのでとても分かりやすかったです。色々な視点から保育について考えられたため、自分の思考も少し変えることができました。10の姿の大切さを改めて知ることができ、今後の保育で意識していきたいと思います。

○今回、芳田こども園での公開保育を見て、先生方が子ども達と一緒に色々なことを考えながら保育されていて、素晴らしいと感じました。それぞれの発達に応じたお店屋さんはとても楽しめました。特に3歳児クラスでは、配慮の必要な子がどのように参加できるか考えられていたので参考にしたいと思います。

○保育の中での環境のあり方、意味を一つひとつ丁寧に説明してくださり、分かっていたようで、きちんと理解できていなかったことを実感した時間でした。『育てたい10の姿』もとても分かりやすかったです。自分自身まだまだ理解できていない部分が多いですが、少し明確になったような気がします。自身の中で再度整理し、園内でも共有していきたいと思いました。

《芳田こども園感想》

○今回の研修でやはり心に残っているワードは『トキメキ』『ヒラメキ』です。日々の保育の中で私自身このことがどれだけ大切にできているだろうかと考えました。子ども達が自発的に主体的にやってみようとする意欲を大切にしながら、今後職員同士が十分に理解を深め、取り組んでいきたいと思いました。

○今日は他のこども園の先生方や瀧川先生の話聞き、子どもとかかわる中で子どもの気持ちに寄り添ったり、肯定する気持ちを大切にしたりすることが大事だと改めて感じることができました。『トキメキ』『ヒラメキ』という言葉が頭に残り、子どもが今どう感じているのかどんなイメージなのか一緒に考えられるいい機会になったと思います。

○午前の公開保育では緊張もあり、指導案の内容に沿った保育を行っていたか不安があります。子どもが主体的に活動していくために、私達は適切な援助を選択しなければならないのだと感じました。午後の研修では、子どもの気持ちや興味を広げていく環境をどう用意していくかが大切だと感じました。

○今回研修を受けるにあたり、保育環境の構成や、保育士としての人的環境について考えたり、取り組む機会が十分にあり、公開保育を通してたくさんの学びがありました。瀧川先生のお話は非常に分かりやすく、幼児教育の内容を再認識することができました。今回インプットしたことを、現場でアウトプットしていきたいと思います。

○今回の研修で、何が今子ども達に必要なのか、どういう援助をしていけば良いのかを改めて考える機会になりました。主体性って？自発的になって？と言葉にすごく惑わされましたが、何より『子どもをよく観る』ことが大切だと感じました。今後の保育にしっかりと活かしていけるようにしたいです。

○今回の研修で5領域、資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を意識することで、子ども達の一つの遊びの中からトキメキや気付き・発見、ヒラメキが生まれ、次やってみようという探求心や自発的な試行錯誤につながるということがとてもよく分かりました。そして、日々の保育の中で優しいまなざし、一人一人の良さや特性を観ていきたいと思いました。

○今日はとても分かりやすいお話でした。改めて子どもの気持ちを受容し、共感することの大切さ、温かく優しいまなざしで肯定的にその子の良さを認めていくことの大切さに気付きました。そして、子どもの『トキメキ』『ヒラメキ』を大切にして、興味をもったタイミングを見逃すことなく気長に付き合うことで気付き、発見、学び、育ちにつながっていくことも学びました。子どもの興味・関心をよく見て、学びが広がっていくようにこれからも頑張っていきたいです。

○子ども達の何気ない動きや表情には全て意味がありときめいたり、閃いたりしているのだなと思うと、その姿を逃さずとらえ、かかわって行きたいと思いました。まだ言葉がうまく話せない0、1歳児を担当しているので、子どもの感じていることをとらえ、言葉にして知らせ、共感していきたいと思いました。

○具体的な指導方法を教えていただいてとても参考になりました。子どもを肯定する気持ちを言葉や態度で伝え、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿が育つように『環境』（子ども一人一人に合わせた教材、援助・配慮・言葉がけ）を改善していきます。

○普段保育の中に入って子ども達と接することはほとんどありませんが、栄養士として子どもとかかわる時にこの研修で学んだことを活かしていきたいと思います。食に関することに興味をもち、気になること、教えてほしいこと等を聞きにくる子どもが年長を中心にいるので、その興味が続くような声掛けや、掲示物を作る等していきたいと思います。また、子供がしたいと思ったことができるような環境を整えることも大切だと分かりました。